

施設名	八王子市立長房西保育園
------------	-------------

視点	評価項目	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)		
		所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)					
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	定量的	定員に基づく常勤保育士配置数13人/月	B			B			B			B			
	定量的	職員会議1回/月	A	月2回以上実施	A	月2回以上実施	A	月2回以上実施	A	月2回以上実施	A	月2回以上実施			
	定性的	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経営がなされていること	管理業務の実施に係る固有の銀行口座を開設しているか【確認資料:通帳】	B		B		B		B		B			
			資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか【確認資料:独立した会計帳簿】	B		B		B		B		B			
			利用料金、使用料等の徴収は適正に行われているか【確認資料:独立した会計帳簿・通帳・徴収簿・現金出納帳・徴収書控】	B		B		B		B		B			
			剰余金の処理が適正か【確認資料:独立した会計帳簿】	B		B		B		B		B			
	定性的	収支計画が適正であること	B		B		B		B		B				
	定性的	管理運営がきちんとできる職員体制や研修体制がとれていること	業務を実施するにあたり、適切な人員配置や育成がなされているか【確認資料:事業計画書・月報・職員シフト表・事業報告書・研修計画・研修報告書】	A	障害児加配・一時保育に対応できる体制整備の度か、臨床心理士と連携した人材育成体制を評価	A	障害児加配・一時保育に対応できる体制整備の度か、臨床心理士と連携した人材育成体制を評価	A	障害児加配・一時保育に対応できる体制整備の度か、臨床心理士と連携した人材育成体制を評価	A	障害児加配・一時保育に対応できる体制整備の度か、臨床心理士と連携した人材育成体制を評価	A	障害児加配・一時保育に対応できる体制整備の度か、臨床心理士と連携した人材育成体制を評価		
			職員会議を定期的に開催し、施設の運営方針及びその内容を十分協議し、民主的運営が図られているか【確認資料:職員会議録】	B		B		B		B		B			
			給与の支出が適切に行われているか【確認資料:給与規程・賃金台帳】	B		B		B		B		B			
保育の継続性を確保するため、年度途中の人事異動を避け、職員を安定・継続的に配置しているか【確認資料:事業計画書(人員配置計画)・月報・事業報告書】			B		B		B		B		B				
職員に対する処遇改善が適切に実施されているか【確認資料:処遇改善計画書・賃金台帳・賃金改善実績報告書】			B		B		B		B		B				
施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか【確認資料:第三者への一部事務委託に関する承諾書・事業報告書・実地調査・独立した会計帳簿】			B		B		B		B		B				
施設の利用状況において公共性、公平性、公正性が図られるか	定量的	開園日数293日/年	B		B		B		B		B				
	定量的	給食の提供1回/日	B		B		B		B		B				
	定性的	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	B		B		B		B		B				
	定性的	減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか(※該当の場合)【確認資料:減免申請書・減免申請に係る帳簿】	B		B		B		B		B				
	定性的	施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	B		B		B		B		B				
施設のサービス向上・利用者等の増加等を図る対策が図られているか	定量的	入所児童数100人/月	B		B		B		B		B				
	定量的	利用者満足度80%以上													
	定量的	東京都福祉サービス第三者評価結果における肯定的評価の割合80%以上(指定期間の1年目及び4年目は必ず実施)													
	定性的	利用者等からの苦情処理の体制がとれていること	B	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【確認資料:相談、苦情をまとめた整理帳簿】	B		B		B		B				
	定性的	利用者及び地域住民との信頼関係を構築すること	B	第三者評価及び利用者満足度調査の結果を業務改善につなげる取組がなされているか【確認資料:職員会議録、ヒアリング等】	B		B		B		B				
施設の環境的・経済的・社会的な管理が図られているか	定量的	電気使用量(園児あたり換算)平成30年度～令和2年度平均比100%以下/年										B			
	定量的	ガス使用量(園児あたり換算)平成30年度～令和2年度平均比100%以下/年										B			
	定量的	水道使用量(園児あたり換算)平成30年度～令和2年度平均比100%以下/年										B			
	定量的	給食残さばり量(園児あたり換算)平成30年度～令和2年度平均比100%以下/年										A			
	定性的	各種便り(園便り、給食便り等)の発行1回/月	B		B		B		B		B				
事業の進捗が図られているか	定量的	児童の健康診断2回/年										B			
	定性的	年、期、月などの長期的な指導計画と、それと関連しながら、より具体的な児童の日々の生活に即した週又は日などの短期的な指導計画を作成して、保育が適切に展開されているか【確認資料:全体的な計画・指導計画・保育日誌・連絡帳】	A	個別カリキュラムで子どもの成長を家庭と共有する取組を評価	A	個別カリキュラムで子どもの成長を家庭と共有する取組を評価	A	個別カリキュラムで子どもの成長を家庭と共有する取組を評価	A	個別カリキュラムで子どもの成長を家庭と共有する取組を評価	A	個別カリキュラムで子どもの成長を家庭と共有する取組を評価			
	定性的	年間行事予定を作成し、特色ある行事を計画的に実施しているか【確認資料:年間行事予定表・行事記録・行事アンケート】	B		B		B		B		B				
	定性的	健康計画を作成し、児童の健康管理が図られているか【確認資料:健康計画・健康記録・保健日誌・その他児童の健康管理に関する書類】	B		B		B		B		B				
	定性的	食育計画を作成し、献立表に基づく給食が提供されているか【確認資料:食育計画・献立表・その他給食の提供に関する書類】	B		B		A	質を適した平日常務課や園地や給食に配慮した食材を用いた給食など、食育活動全般に渡る取組を評価	A	質を適した平日常務課や園地や給食に配慮した食材を用いた給食など、食育活動全般に渡る取組を評価	A	質を適した平日常務課や園地や給食に配慮した食材を用いた給食など、食育活動全般に渡る取組を評価			
いかなる情報管理が図られているか	定量的	避難訓練1回/月	B		B		B		B		B				
	定量的	施設の安全点検1回以上/月	A	月2回以上実施	A	月2回以上実施	A	月2回以上実施	A	月2回以上実施	A	月2回以上実施			
	定性的	個人情報の取り扱いが適切であること	B		B		B		B		B				
	定性的	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【確認資料:保険証券】										B			
	定性的	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	B		B		B		B		B				

期末総合評価	B
所管課コメント	市との協定内容を踏まえ、事業計画に基づき(保育所の管理運営が適正に行われている。令和3年度についても、年間を通して新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を徹底し、保育に努めたことを評価する。全園児に対し個別カリキュラムを設け、保護者と子どもの育ちを共有しながら家庭との連携を図る「あゆみノート」の取り組みにより保護者との信頼関係が確認できる。また、SDGsやESD(持続可能な開発のための教育)の観点から環境配慮活動(ミズミのコンポスト等)、子どもが自ら実践する食育(野菜つくり、お米作り等)、メダカ等小動物の飼育などを伝えた教育を実施し、子どもの自主性、自己決定を尊重した特色ある保育を実施している。